

平成27年度第1回小牧市スポーツ推進審議会会議録

- 1 開催日時 平成27年8月5日(水)
午後2時～午後3時30分
- 2 開催場所 小牧市役所 東庁舎4階 本会議用控室
- 3 出席者 会長 長尾 英俊 (公財)小牧市体育協会競技委員長
委員 佐藤 史郎 (公財)小牧市体育協会副会長
委員 中谷 直 中小体連小牧支所代表
委員 舟橋 巧 小牧南小学校区スポーツ振興会会長
委員 宮崎 加代 小牧市体操連盟理事
委員 田中 雅之 市民公募委員
- 4 欠席者 委員 花井 忠征 中部大学教授
委員 黒田 真二 名古屋造形大学講師
委員 杉田 久美子 小牧市スポーツ推進委員連絡協議会副会長
委員 松浦 昌美 市民公募委員
- 5 説明のため出席した事務局員
(教育委員会事務局)
教 育 長 安藤 和憲 教育部長 大野 成尚
教育部次長 舟橋 泉 スポーツ推進課長 落合 健一
スポーツ推進係長 長谷川 潤治
スポーツ推進係主任 日比野 豊

(小牧市体育協会)
事務局長 井上 武 事業係長 青山 寿彦
- 6 傍聴者 なし
- 7 会議の内容
(1) 議題
議題第1号 平成26年度社会体育事業実施結果概要について
議題第2号 平成27年度社会体育事業実施計画について
(2) 意見交換 パークアリーナ小牧における優先予約について
(3) 報告・連絡事項
報告第1号 平成26年度体育施設利用状況について

報告第2号 平成26年度(公財)小牧市体育協会事業報告及び収支決算について
報告第3号 平成27年度(公財)小牧市体育協会事業計画及び予算書について

8 会議の資料

- (1) 平成26年度社会体育事業実施結果概要
- (2) 平成27年度社会体育事業実施計画
- (3) 小牧市スポーツ公園運動施設総合体育館優先予約に関する基準
- (4) 平成26年度体育施設利用状況
- (5) 平成26年度事業報告及び収支決算 公益財団法人小牧市体育協会
- (6) 平成27年度事業計画及び予算書 公益財団法人小牧市体育協会
- (7) 平成27年度パークアリーナ小牧の土日祝日の優先予約について

9 議事内容

[事務局] (落合スポーツ推進課長)

只今から、平成27年度の第1回小牧市スポーツ推進審議会を開催します。

委員の交代をお知らせします。中小体連小牧支所代表として従来の中川委員から、8月1日より中谷直様にスポーツ推進審議会委員を変更しましたので報告します。

中谷委員から自己紹介をお願いします。

[中谷委員]

中学校小学校体育連盟小牧支所の支所長で光ヶ丘中学校の中谷直と申します。初めてですがよろしくお願いします。

[事務局] (落合スポーツ推進課長)

小牧市審議会等の会議の公開に関する指針に基づいて、会議の公開となっておりますが、本日の傍聴人はありません。

欠席の委員は、花井委員、黒田委員、杉田委員、松浦委員であります。

本日の会議は、6名が出席しておりますので、規定により会議は成立しております。本日の資料の確認ですが、平成26年度社会体育事業実施結果概要、平成27年度社会体育事業実施計画、小牧市スポーツ公園運動施設総合体育館優先予約に関する基準(資料1)、平成26年度体育施設利用状況(資料2)、平成26年度(公財)小牧市体育協会事業報告及び収支決算(資料3)、平成27年度(公財)小牧市体育協会事業計画及び予算書(資料4)、委員名簿、平成27年度パークアリーナ小牧の土日祝日の優先予約について、席次表、パークアリーナ小牧のパンフレットです。それでは、教育長より挨拶を申し上げます。

[安藤教育長]

皆さんこんにちは。委員の皆様には、定刻までにお集まりいただきまして、大変ありがとうございます。最近の話題としては、夏の甲子園が100年を記念するということであり、早稲田実業の清宮選手が1年生ですが、怪物が登場してきたということで話題を集めており、スポーツが盛んな夏を迎えています。

小牧市では、こどもの夢を育み夢へのチャレンジを応援する事業として、昨年5月5日の「こどもの日」に、こども夢・チャレンジカップU-12を開催しており、今年、11月15日に開催する予定です。これは、日本全国にある海外のクラブチームを小牧にお招きし、こども達が競い合うという夢の祭典を、昨年度立ち上げて今年度で2年目ということで進めようとしています。スポーツに関しましては、市制60周年を迎えるということで、市民体育大会、駅伝競走大会なども秋から冬にかけて予定していますので、大いに周年事業として盛り上げていきたいと思っております。今日は、委員の皆様からご意見をいただきまして、スポーツ推進の発展のために参考にさせていただきます。

[事務局] (落合スポーツ推進課長)

続きまして、長尾会長よりあいさつをお願いします。

[長尾会長]

あらためまして、こんにちは。本日の会議がスムーズに進行し、また、時間を有効に使えるようにご協力をお願いします。長年、体育行政に携わっていますが、市民総スポーツという中で、スポーツ推進課と体育協会の両輪が、良いサイクルで動いていることをうれしく感じております。この両輪に乗っかる形で、この会議が充実したものになるようにしていきたいと思っております。

[事務局] (落合スポーツ推進課長)

当会議の議事録署名人を宮崎委員にお願いします。それでは次第の2、議事に移ります。議事の進行については、規定により会長が会務を総理することになっていますので、会長に議事進行をお願いします。

[長尾会長]

それでは、議題第1号「平成26年度社会体育事業実施結果概要について」を議題とします。事務局から説明をお願いします。

[事務局] (長谷川スポーツ推進係長)

(事務局より議題第1号、資料に基づき概要を説明)

[長尾会長]

それでは、「市民総スポーツの推進に関する事業」の質問やご意見はありますか。

(委員から発言なし)

[長尾会長]

次に、「社会体育の幅広い推進とスポーツ団体の育成事業」で、小牧市体育協会委託事業、小牧市シルバースポーツ協会委託事業、小牧市スポーツ推進委員連絡協議会、地域スポーツ団体(小学校区スポーツ振興会)の関係といった大きく4つのことですが、質問やご意見はありますか。

[佐藤委員]

加盟団体の活動内容の中に、西町長寿会GOGOクラブがありますが、これはいろんなクラブが地区にあるが、そういうクラブですか。

[事務局] (長谷川スポーツ推進係長)

シルバースポーツ協会に加盟しているのが、西町長寿会GOGOクラブという、あくまでも地域の中の1つのクラブであります。

[佐藤委員]

そうすると、他の地域のクラブが、シルバースポーツ協会に加盟すると補助金が支給されますか。

[事務局] (長谷川スポーツ推進係長)

グラウンドゴルフの協会は、シルバースポーツ協会には加盟していませんが、過年度は小牧市体育協会に加盟していました。

グラウンドゴルフの競技は、シルバースポーツ大会でも開催するので、西町長寿会GOGOクラブがシルバースポーツ協会に加盟して、お力添えをいただいています。

[長尾会長]

体育協会でもいくつかの団体が加盟しており、シルバースポーツ協会と重複して加盟していないでしょうが、基本的には別のものですね。

[事務局] (長谷川スポーツ推進係長)

重複がないように、いずれかに加盟しています。団体の活動内容を考慮して、いずれかに加盟するのが一般的であります。

[長尾会長]

補助金の問題として、仮に、体育協会とシルバースポーツ協会に重複して加盟している場合があると、事業報告の住み分けをどのようにしているのか。そのところで疑問が生じるようであれば、良くないと思う。

[舟橋委員]

西町長寿会GOGOクラブは、体育協会加盟団体のグラウンドゴルフ協会に入っていないのか。

[事務局] (体育協会井上局長)

体育協会の加盟団体にレクスポ推進協議会があり、その協議会にグラウンドゴルフ協会が加盟していましたが、様々な事情があり、平成27年4月からはレクスポ推進協議会から脱退しました。よって、必然的に体育協会の加盟団体ではなくなりました。その後、グラウンドゴルフ協会がシルバースポーツ協会に加盟を考えていると聞いています。

[長尾会長]

今の説明を聞いた限りでは、グラウンドゴルフの協会の加盟については、住み分けが明確にされていると考えてよろしいですね。手続き上の問題も特にないという

ことで理解しておきます。

[長尾会長]

3の「社会体育指導者の育成に関する事業」については、見ていただいたとおりですのでよろしいですか。

次に4の「小中学校運動部活動への指導者派遣事業」ですが、これは中学校のジュニアクラブを地域連携型運動部活動に、発展的に変えたという中で民間指導者を派遣している状況です。小学校はジュニアクラブという形で進んでいるので、ジュニアクラブの中で外部の指導者を確保し、それぞれのジュニアクラブが外部の指導者と連携を取りながら進めているという実態ですので、ここでは出てきていないという理解でよいですね。

決して外部の方が小学校の方は指導に入っていないと言うわけではなく、住み分けがされているということでもあります。

[事務局] (長谷川スポーツ推進係長)

小学校の実績が次のページにあります。米野小学校のバトントワリング、陶小学校のバスケットボールから民間指導者の派遣依頼がありますので、民間指導者を派遣しています。

[長尾会長]

全ての小学校がジュニアクラブ化しているという事ではなくて、また、ジュニアクラブ化していない学校が米野・陶小学校ということでもないですね。

[田中委員]

部活動への指導者派遣事業というのは、平日にやっている部活動に外部指導者が行かれるということでしょうか。ジュニアクラブは土日のみに外部コーチが来ていると思う。

[事務局] (長谷川スポーツ推進係長)

指導者の派遣は、平日や休日ともに派遣していきまして、回数の上限があります。

平日は2日間で1人ずつ、休日は5日間で2人ずつまでの上限で行っており、第2、第4土曜日と第3日曜日は派遣をしていません。

[長尾会長]

5の「夢育み事業」については、昨年度からスタートしており、一歩踏み出したという感じの中で今年度も進められていくと思います。こども夢・チャレンジカップの運営については、商工会議所も関わっていると聞いているが、このことは説明の必要はありませんか。

[事務局] (長谷川スポーツ推進係長)

こども夢・チャレンジカップは実行委員会を結成しており、市、商工会議所やサッカー関係者で組織されています。市と商工会議所の負担金、広報の協賛金で実行委員会の運営を行っています。実行委員会の事務局については、商工会議所が行っています。

[長尾会長]

最後の「社会体育施設の整備に関する事業」については、どうでしょうか。

事業実施計画の中でも出てくるとは思いますが、施設管理については、温水プールは愛知スイミングが、それ以外の体育施設は体育協会が、指定管理者制度に基づいて進められているということですね。

[中谷委員]

1 ページの（3）の全国大会等出場者激励費の交付ですが、私の認識ではスポーツ推進課と体育協会の交付基準はそれほど変わらないと思っていましたが、個人も団体も数が違うので、どちらか一方が申請されていないのか、単純に疑問に思ったのですが。

[事務局]（体育協会青山係長）

体育協会の基準には、加盟団体の種目に限るということがあるので、市は支給するが体育協会は支給しないことがある。

[長尾会長]

それでは、議題第1号「平成26年度社会体育事業実施結果概要について」は、承認いただけますか。

（委員から異議なしの声）

[長尾会長]

議題第1号は承認いたします。

続いて、議題第2号「平成27年度社会体育事業実施計画」について、事務局から説明をお願いします。

[事務局]（長谷川スポーツ推進係長）

（議題第2号の資料に基づき概要を説明）

[長尾会長]

まず、1番目の「市民総スポーツの推進に関する事業」ということで、6つの柱になっていますが、何かご質問はいかがですか。

私のほうからは、事業報告と事業計画を見比べて見た時ですが、ほとんど一緒なのですが、事業報告だからかなり具体的になっているのは分かるし、事業計画だから具体的じゃなくて幅を持った内容になっているのは分かりますが、例えば柱の立て方が、事業報告の学校体育施設開放事業のところには、一括で学校のグラウンド、体育館の開放と書いているが、事業計画を見ると、学校施設開放事業、学校施設プール開放事業、学校運動場夜間開放事業と柱立てが違うが、予算の関係なのでしょうか。こうした柱立ての仕方というのは何か意味があるのでしょうか。

[事務局]（長谷川スポーツ推進係長）

次回には、分かり易くなるように、なるべく各事業が同じような形で対比ができるように、資料を提供していきたいと思えます。平成27年度事業計画の分け方は、どちらかと言いますと、契約で分けたような形の書き方になっています。

[舟橋委員]

1の(3)の学校体育施設のプール開放事業ですが、小牧南小学校についても実施していきまして、先日の土日で終わったのですが、今年は異常気象で非常に暑い日が続いていますので、利用者からこんなに早く終わるのではなくて、もっと長くやって欲しいという声を聞くとと思いますが、こういう状況の中で、追加とかはできるのでしょうか。

[事務局] (長谷川スポーツ推進係長)

プール開放の期間を長くすると、ボランティアで来ていただいている方の負担も増えるわけですが、プールの維持管理費が多く掛かります。学校施設の維持管理費の関係で、バランス良くしていきたいと考えます。

[長尾会長]

プールの維持管理というと水ですよね。安全な水を維持することは、すごくお金が掛かるということですかね。だから、期間を限定していることですか。

[事務局] (長谷川スポーツ推進係長)

プールの水の消毒を一定期間行っているところを、さらに延ばすということになりますので、費用が掛かります。

[長尾会長]

今、プールは2学期に入っても、学校の水泳授業は行っているのでしょうか。

[中谷委員]

小学校では、水泳授業はやります。中学校はおそらく皆無です。ただし、部活動がある中学校はプールを維持管理しますが、2学期の授業では、中学校はプールを使いません。

[長尾会長]

小学校では夏休み期間中も、それなりにプールの維持管理をしているのですか。

[中谷委員]

維持管理をしている学校と、そうでない学校とまちまちです。

[舟橋委員]

反省しているのですが、7月の初めは雨が多くて寒かったので、小牧南小学校は水温が低くてできない日があった。気象状況を考えて、実施計画を立てないといけなかった。

[長尾会長]

他はよろしいですか。では次に、「社会体育の幅広い推進とスポーツ団体の育成事業」ですが、大筋は、事業報告を見ていただく中で全体的に理解していただいていると思いますが、どうでしょうか。

(委員から意見なし)

[長尾会長]

よろしいですか。次に、「社会体育指導者の育成に関する事業」ですが、4月から7月まで事業が進んでいますが、指導者育成事業についてはどうなのでしょう。

[事務局] (長谷川スポーツ推進係長)

公認スポーツ指導員養成講座とクラブマネージャー養成講習会につきましては、例年2月に予定しています。健康体操リーダー養成講座につきましては、9月から予定しています。

[宮崎委員]

平成25年度の方が1人指導者になりましたし、平成26年度の方はこれから研修生として研修していただく予定になります。確実に指導者を増やさせていただいているので、ありがたいことだと思っています。

[長尾会長]

健康体操フェスティバルがこの前ありましたけど、市民が集まって盛り上がっていました。

[長尾会長]

それでは4から5まで、併せてということになりますが、いかがでしょうか。

(委員から意見なし)

[長尾会長]

それでは、議題第2号「平成27年度社会体育事業実施計画について」は、承認いただけますか。

(委員から異議なしの声)

[長尾会長]

それでは、議題第2号は承認いたします。

本日の議事がすべて終了いたしましたので、後は、事務局でよろしくお願ひします。

[事務局] (落合スポーツ推進課長)

ありがとうございました。続きまして、次第の3として、意見交換会を設けさせていただきました。委員の皆様から、パークアリーナ小牧における優先予約について、ご意見を頂きたいと思ひます。事務局から内容説明をいたします。

[事務局] (長谷川スポーツ推進係長)

(-資料の内容説明-)

今回、どうして意見交換会を行うのかといいますと、パークアリーナ小牧がオープンから14年が経過しており、多くの大会が開催されております。県内でも有数な体育館として浸透している訳でありまして、優先予約が多くなる一方で、市民の方からは予約が取れづらいという声が聞こえてきます。こういったことから、委員の皆様にご意見を頂きたいと思ひます。パークアリーナ小牧の位置付けですが、客席数が1,800席から5,000席あります。このように客席数を有していますので、バレーボールの世界大会ですとか、プロリーグを誘致してハイレベルなスポーツを身近で観る機会を提供しています。また、全国大会など大規模なスポーツ大会が開催されることで、県外から小牧市に訪れていただき、小牧を知っていただく機会の創設にも努めているところであります。市民体育大会を始め、体育協会加盟団体の協力により、市民の皆様を対象にした大会も優先予約の対象として開催しています。そういったことで、市民がスポーツに参加する機会も確保しているところで

す。現在の優先予約の状況は、概ね月2回の金・土・日は、優先予約を入れないようにしています。しかし、大会の時期が重なったりですとか、市の事業などやむを得ない場合で、どうしても優先予約が必要と判断する場合、一般予約が減少しているところでもあります。月によっては、優先予約が偏っているところがあります。市といたしましては、長年に亘って観客の見込める大会を誘致してきました経緯を考えますと、一度、誘致した事業をお断りいたしますと主催者側から信頼を失い、国際大会などが他市に行ってしまう事も考えられる状況です。本日は、優先予約の状況をご覧いただき、一般開放（調整枠）と優先予約のバランスですとか、こういった大会を観戦した感想など、パークアリーナ小牧の優先予約のあり方について、ご意見をいただきたいと思っております。

[長尾会長]

パークアリーナ小牧は、とてつもない市民の税金を掛けて平成13年に造った体育館であります。当然、市民の方から身近に感じられるような施設であるとうれしいなと思う一方で、優先予約をする中で、より広く知っていただく機会、言ってみれば、小牧の経済発展に貢献する施設という思いの中であると思うのですが、それぞれの形で利用されたり、大会を観戦されたり、様々な立場があると思っております。それぞれの立場でもって実感をお聞かせいただく中で、問題がないかどうか、課題を発見できるかどうかかと思っております。

[事務局]（落合スポーツ推進課長）

優先予約の基準を設けています。これまで事業を誘致してきて、それが市民の皆様にご利用いただいているという事があります。また一方で、そうした誘致事業等が多くなってきましたので、一般開放の枠が減ってきていることがあります。どれもこれも取り入れることは、なかなか難しい訳ですが、バランスの問題、資料に一般開放、優先として占有率をお示ししていますが、この率が適当であるかどうか、優先予約事業について適当であるかどうか、というようなところで委員の皆様の率直な意見をお伺いできれば、今後の事務の参考にさせていただきたいと考えますので、ご意見が頂ければというふうに考えます。それぞれ、いろいろなお立場でご利用いただいておりますが、皆様方のご意見を頂ければと思っております。

[宮崎委員]

市民の方から取りづらいという意見は、どれくらいあるのですか。

[事務局]（落合スポーツ推進課長）

割合としてこれくらいあるということは、統計的な数値としてお出しすることはできませんが、皆さんが使われたい日にちが、どうしても重複してしまうということもございますが、土日に限ってみますと、特に利用の幅が狭まっているということでもありますので、そういった声が届いています。

[長尾会長]

優先予約の捉え方、土日ということではなくて、パークアリーナ小牧全体の施設としての利用状況というのは、当初、心配していたような、平日は閑古鳥が鳴いているようなことはないかと聞いているんですが、全体の利用率から見ると、どんなよ

うな数字ですか。

[事務局] (長谷川スポーツ推進係長)

パークアリーナ小牧のメインアリーナでは、平成26年度の平日で、午前、午後、夜間の分けて、午前72%、午後71%、夜間97%、全体で77%であります。土日祝日では、午前95%、午後97%、夜間99%、全体で97%の利用率になっています。ちなみに、サブアリーナの平日では、午前が81%、午後82%、夜間97%、全体で85%、土日祝日ですが、午前96%、午後98%、夜間97%、全体で97%になります。

[長尾会長]

この利用状況は、どうでしょうか。良いように見えますが、空きがあるかということでは良くないですが。

[事務局] (長谷川スポーツ推進係長)

他市のデータはありませんが、南スポーツセンターで考えますと、柔道場で平日の夜間は98%と高いわけですが、午前、午後が50%・20%と低い状況であります。土日祝日につきましては、夜間は比較的高く89%、午前午後につきましては、50%~60%くらいの利用率になっています。

[長尾会長]

昨日も生涯学習関係の会議の中で受講の話があって、終わりがけに施設の利用料金のことなのですが、これだけ高いということが、案外、料金体系が一般市民向けなのかなって思うのですが、そういう思いというのは、スポーツ推進課としてというか、体育協会として何かありますか。

[事務局] (落合スポーツ推進課長)

使用料につきましては、その設備の内容、あるいは規模、近隣市町の状況等を勘案して設定していますが、単位面積といいますが、大きい規模の施設ですので、大輪体育館と比較すると割高な感じはあります。しかし、民設されている施設と比較すると安いという事は思っています。だいたい愛知県体育館などと同等の金額設定になっていると感じています。先ほど、状況についてはお話をさせていただきましたが、あれだけの規模の体育館が、なかなかこの辺りにはないということで、大きなイベント、スポーツ大会等で活用していただくような施設としても有効であると考えています。その結果、バスケットボールですとか、バレーボールですとか、プロの方ですとか、世界大会ですとかご利用いただいております、多くのお客様にもご来場いただいているということがあります。なかなか、こういった施設はないが、こういった施設が小牧にあるということで、そういったPRの仕方もあるし、観るスポーツということで、なかなかプレーする機会がない方に対しても、一流のスポーツを観る機会を提供できる場として活用できている所もあることは、ご承知いただきたいと思っています。

[佐藤委員]

できて3年くらい後の時に、何とかバレーボールを名古屋から誘致したいと骨折って、Vリーグが最初に来たんですね。その最初の試合の後の選手の感想なんです

けど、こんなところがあったのかというような印象ですね。あまりレインボーホールのような大きな所で、この倍くらい入ったところだと、歯抜けのような状態なんですね。このくらいの観客席で埋まってくれたほうが、選手が非常にやり易いというような環境で、いろんなバレーの試合を優先予約で取るようになったんですけど、全日本の選手からも非常にやり易い体育館、それから中の施設ですね、更衣室とかは、地方の体育館では付いてないよ、というような評価なんですね。何かあると、あそこで予約が取れないかという電話が入ってくるというような状態です。バスケットもたぶんそうじゃないかなって思うんですけど、何とかせつかく市民の方も使っていただかないといけないし、そういう事業も必要になってくるのではないかと思いますので、その兼ね合いがスポーツ推進課としてどうしようかという所かと思いますが、なかなか難しいですね。それともう一つ、メインアリーナでもサブアリーナでもそうですけど、平日の午前中の利用価値、どこの体育館でも、平日の午前中にどうやって利用していただくかというようなことで、高齢者を対象に何とかして午前中にたくさんご利用いただくような計画を練っていかないといけないかなと思います。

[田中委員]

バスケットボールのクラブチームのコーチをしていますけど、NBLが来たり、プロのバスケットボールのリーグの時は、駐車場も入れないくらい満車で、日本特殊陶業の駐車場を借りてまでやるくらい盛況で、子どもたちも、親もですけど、すごく喜んで、観戦に行ってプロの試合を見て、すごく刺激を受けて非常にありがたいなと思っています。1つの意見として、プロの試合だけではなくて、例えば東海学生バスケットボール選手権大会とか、剣道の大会とか、様々あると思いますが、こういうのもインターネット等で発信していると思うのですが、小牧市の中でそういう学生の大会があったら観に行きたいのではないかなと思うので、広報とか、いろいろな形で市民の方にお知らせしたら、喜ばれるのではないかなと思います。

[事務局] (落合スポーツ推進課長)

優先予約ということで、基準を設けているということで、資料を提示させていただいていますが、その基準に規程をしております内容が、実際のところ守られていない、基準どおりに上手く運べていないということがございます。この内容についても、検討していく必要があるのではないかと考えておりますし、誘致事業につきましても、市民の皆様の期待に答えられる内容で実施ができているというところもございます。また、過去の担当者が、汗水を流しながら誘致をされたという実績もございます。そうしたところを考慮しながら、この問題については、今後も検討していく必要があるのではと思います。

[事務局] (大野教育部長)

今、課長が申し上げましたが、市は基準を作って運用をしているのですが、お手元の資料の通り、一般開放枠が平成27年度は35%、平成28年度は33%と低下しておりまして、当然、今の基準がだんだんと守られていない状況でありまして、その状況に基準を作り直すという訳ではなくて、一般開放枠が下がっている状況で

すので、今の基準を守っていくのか、それとも、優先の取り方を考えるのかも含めて、総合的に検討することがあるという意味合いですので、そのようにご理解いただければと思います。

[長尾会長]

どの程度の発言がいろいろな所から聞こえてくるかということについては、具体的なものはないと思いますが、パブリックコメントに近いようなもので、市民から吸い上げるような、例えば競技団体も利用したいが、なかなか上手く取れない話も聞いたことがあるが、そういう方々の代表者を何名かチョイスしていただいて、アンケート形式でもいいが、そういうものを取っていただく中で、何かヒントが出てくればいいのかなど思ったりします。私たちからの意見もそうですが、利用者が感じたことを、具体的な事例として吸い上げたほうが良いような気がします。

[事務局] (大野教育部長)

私が申し上げたのは、例えば、平成27・28年度と割合が減ってきてまして、29年度が30%になってしまった、30%を切ってしまったと、そんなような状況になると、この基準そのものが、一から考えていかないといけないので、守っていくのか、違う方向で考えていくのかを含めて、長期の予約が取れてしまうので、例えば、長期の予約はここまでに留めておくですとか、予約の仕方を含めて考えないといけないのかなと思います。

[田中委員]

確かに、場所もいいですし、これだけ世界大会や全国大会で使いやすい施設ということですので。

[長尾会長]

以前に全中が、あそこで卓球を開催しまして、大会を盛り上げてくれたという経緯がありますが、そういう形で大会を誘致する事は、いろいろな形で小牧を知っていただいて、何かの形でメリットをとということからすると、それが巡って市民に何らかのメリットが落ちてくるよと。それが効果としては確認しながら、市民の人もそれで納得したり、それを観るスポーツという形の中で、この施設を理解しているであるとか、今回も直接スポーツをすることだけをニーズとして捉えることではないと思っていますので、30%はその人にとってどういう数字なのかということ、先程話したように、把握の仕方は、様々なのかと思います。

[事務局] (大野教育部長)

スポーツを観るのも市民の利益になると思いますので、会長の言われる事はよく分かります。

[長尾会長]

常務から開催まではいろいろあったと聞いているが、この前のボクシング世界戦で、世界チャンピオンがでた事は、良かったのではないかな。

[事務局] (大野教育部長)

資料の赤い枠の中にも、市が主催する事業もあり、市が主催する事業は、ある一面では市民の方が利用していることですので、市民利用とも言える。

[田中委員]

私も友人も、パークアリーナ小牧の土日を、少し使ったことがあるが、基本的には取れないものだという中で、空いているか聞いてみようという感じで、市民の方も土日に関しては、そう思っていると思う。平日についても、午前中は別として、練習を毎週同じ曜日では考えていないと思う。ただ、まったく使えないくらいになると、その時はまた考えていく必要があると思う。先程の長尾会長が言われたように、どういう意見があるのか、ぜんぜん使えないじゃないかという意見なのか、多くの方が意見しているのか、少ないのか、市民から意見があったときに記録していくのが良いのではないかと思います。

[事務局] (落合スポーツ推進課長)

その他、ご意見はよろしかったでしょうか。皆様方から様々な意見をいただき、ありがとうございます。

それでは、次第の3、意見交換はこれで閉じさせていただきます。続きまして、事務局から、次第4の報告・連絡事項についてご案内いたします。

[事務局] (長谷川スポーツ推進係長)

資料2が、平成26年度体育施設利用状況となっております。事前に配布していますので、今後の参考にしてください。資料3・4については平成26年度(公財)小牧市体育協会事業報告及び収支決算、平成27年度(公財)小牧市体育協会事業計画及び予算書になります。こちらも先程の議事の内容と重複していますので、説明は割愛させていただきます。

[事務局] (落合スポーツ推進課長)

報告・連絡事項について、何かご確認いただく事はありますでしょうか。

それでは、次第の5、その他でございますが、次回の審議会の開催について、平成28年2月中旬を予定させていただきます。その際にはご出席いただきますよう、よろしくお願いいたします。

それでは、以上をもちまして、平成27年度第1回小牧市スポーツ推進審議会を閉会いたします。